



# いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数447名

[強く] 自信をもって心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 思いやりがあり、感動する子

## 「交通安全」の意識を高めたい

校長 大澤 紀子

新緑のまぶしい季節となり、いつしか初夏の陽気となりました。

新しい学年となり、3週間が過ぎました。1年生もしだいに学校生活に慣れ、元気にのびのびと生活できるようになってきました。どの学年児童も、みんな意欲をもって勉強や運動に取り組んでいる姿が見られ、明るい笑顔があちらこちらで輝いています。

私は、昨年度から登校時間にいろいろな地区の登校の様子を見に行っています。そんな中で、次のようなことを強く感じています。

鴻巣北小の学区の特徴として、

- ・交通量の多い国道、県道があり、それを横断したり歩道橋で渡ったりして登下校をしている。
- ・踏切を渡って登下校している。
- ・道幅が狭い道路が多く、その狭い道路を車がスピードを出して通過していく時がある。

などがあり、交通事故の危険性のある場所が多いということです。

さらに今年は、下校の時の歩き方や行動についても課題を感じています。登校の時は1列で歩けていても、下校の時は同学年の友達と帰っているということもあり、気が緩んでしまうことがあるようです。横並びで広がって歩いたり、時には道路の中央の方まで広がっていたりすることが見られます。道路脇の石を蹴って車に当たりそうになったと連絡をいただいたこともあります。課題の改善のためにも、子どもたちには、年度始めのこの時期にもう一度しっかりと「交通安全」という意識をもってほしいと思い、5月の全校朝会で話をする予定です。

子どもたちの笑顔があふれる学校を作りたいと願う一番の土台は、子どもたちの「命」をしっかりと守ることです。交通安全については、これからも繰り返し指導していきますので、是非、ご家庭でも繰り返しの指導をお願いします。また、地域の皆様には、日頃の子どもたちの行動で、気になることがあったら、学校に連絡いただきたいと思えます。気になる様子を見かけた時は、その場で声をかけていただくのが一番ですので、遠慮せずお願いしたいと思えます。

地域・保護者の方が子どもたちの様子を温かく見守ってくださるのが、鴻巣北小の素晴らしいところです。登校時は、多くの方がいろいろな場所で、子どもたちの登校の様子や車の通行の様子を見守り、指導してくださっています。本当に多くの方が関わってくださり、ありがたいと感じています。

子どもたちには、「自分の命は自分で守る」という意識を、交通安全や防災の面はもちろん、生活の様々な場面で継続的に指導していく必要があると思っています。また、学校は地域の避難所になるという意識ももち、職員全員で危機管理意識を高めていきたいと考えています。これからも地域・保護者の方と連携して子どもたちの安全を守り、健やかな成長のために尽力していきたいと思っております。

